

令和4年度 朝来市立（ 竹田小 ）学校 学校評価

学校教育目標

○学校理念
「いのち輝かせ、夢と幸せをばぐむ学校づくり」
○学校教育目標
「未来を切り拓く心豊かでたくましく生きる児童の育成」
-コミュニティ・スクールとして-

総合的な学校関係者評価

・総合的には概ね達成している。
・今後、より一層学校・地域・家庭での対話を進め、より良い学校運営を図っていかなければならない。
・コロナ禍の中で子供達に色んな体験をしており、子供達の個性を輝かせ、みんなが助け合えるような共有を親子共にしていかなければならない。
・学校だより等で学校全体で取り組みを進めておられることがよくわかります。様々な取り組みが子ども達中心であることが伝わっている。今後も継続していくべき。

自己評価 達成状況（A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない）

	評価の観点		達成状況				学校の取組状況・今後改善すべきこと	学校関係者評価 学校運営協議会の意見・提案等	
			A	B	C	D			
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	83%	17%	0%	0%	学校Web ページや学級通信、学校だより、ほけんだより等による情報発信ができています。	(学校運営についてのご意見) ・家庭や地域への情報発信、住民参加の教育活動については、よく工夫いただいていると思う。 ・各学級での自己有用感等の推進状況や生活指導委員会の様子は全校的には把握が難しい ・特色ある学級づくりは各学年で年次的な計画があるためだと思うが、毎年同じような内容となっている。年度末又は年度始めに運営協議会で学校・地域・家庭それぞれ主体が担う内容（活動）を調整してもよいのではないかと。 ・不登校児童に対し過去の実績にこだわらず温かく見守ってあげてほしい。 ・竹田の子どもを守る会として、今後も引き渡し下校に協力していきたいと考えています。 ・危険な場所の改革がなかなか出来ていない。 ・あいさつの出きる子と出さない子がいる。 ・コロナ対応をしながらの学校運営、工夫されていたことも多々あり、本当にお疲れさまでした。 ・状況に応じて早めの対応をされていて、保護者の方でも不安が軽減されたのではないかと思います。こども園との交流も時期を見ながら提案していただき、実現できたことがとてもありがたかったです。	
		オープンスクール（学校公開）など住民参加の教育活動の推進	64%	36%	0%	0%	コロナ禍にあって、梨の袋掛けや収穫、田植え、自転車教室、ゲストティーチャーを迎えた学習など、感染症対策を行って実施することができた。		
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	50%	50%	0%	0%	各学級で、自己有用感や達成感を高め、互いを認め合う学級づくりが推進されている。		
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	42%	58%	0%	0%	教育相談や毎月の生活アンケート、毎週定例の生活指導委員会等により児童の状況、内面理解を推進できている。		
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	55%	45%	0%	0%	生活指導委員会を中心に、組織として諸課題に対応している。		
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	30%	70%	0%	0%	災害時における引き渡し訓練のマニュアルの見直しにより、引き渡し時の手順が児童・職員・保護者とも定着してきた。 今後もより効果的な運用ができるよう改善を図りたい。		
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	64%	36%	0%	0%	年3回の避難訓練が計画通り実施できた。水害想定引き渡し訓練において、竹田の子どもを守る会様、地域駐在さんと連携した訓練ができ、非常時に訓練が活かされた。		
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	42%	58%	0%	0%	特別支援教育コーディネーター4名を中心に、適切な教育活動が推進されている。スクールカウンセラーとの連携、遠級指導との連携等、個々の児童が感じている困り感に寄り添った教育活動となるよう毎学期の「子どもを語る会」で意見交流を行った。		
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	新型コロナウイルス感染症対策	58%	42%	0%	0%	基本的な感染症対策の徹底を呼び掛け、対策に努めた。適切で快適な室温の保持と換気対策の両立の難しさがある。		
	あさごドリームアップ事業	特色ある学校づくり	45%	55%	0%	0%	竹田ドリームアップで全学年が地域講師の協力のもと、地域のあたたかい人材や光る技、豊かな自然・歴史ある文化に触れることができた。新たな地域講師の発掘もできた。		
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立ち情報活用能力育成を含めた授業改善、授業のUD化の推進	58%	42%	0%	0%	UD視点によるアセス（個人カルテ）の活用が進み始めた。	(教育課程についてのご意見) ・ICTなど新しい内容が追加される中、よく対応いただいていると思う。 ・指導方法の工夫改善の結果はどのように出てきているのか。	
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	64%	36%	0%	0%	めあての工夫、学び合いの工夫、確実な振り返りをするための手立て等、指導方法の工夫改善に努めた。		
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	58%	42%	0%	0%	「参観の視点」を事前告知し、指導者がどの部分で悩み、どの部分について協議し研究したかを明確にした事前・事後研究会を行った。指導者の困り感解消につながったことから、指導の工夫が進んだ。		
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	22%	78%	0%	0%	計画が天候や感染症拡大状況等予期せぬ事態で変更になることが多く、工夫改善の必要性を感じる。		
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	45%	55%	0%	0%	人権週間の取り組みをはじめ、年間を通じ全教育活動を通して人権感覚の醸成が推進させている。	(課題教育についてのご意見) ・食育の推進で児童生徒が考案したメニューが献立になつて実際に提供されることはとても良いことだと思う。	
	体験活動の充実	自然学校を含めた体験活動の充実	83%	17%	0%	0%	今年度も宿泊なし・日帰りの実施となったがほとんどの行程を計画通りにすすめることができた。学校運営協議会でまちなかの危険箇所について検討いただいたことが活動に活かされた。		
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	91%	9%	0%	0%	毎週の給食指導や委員会活動で連携ができ、充実した取り組みができています。2学期末に残菜量が目に見えて減り、指導の効果が数値でも現れている。		
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	73%	18%	9%	0%	各学年で発達段階に応じたキャリア教育を推進している。児童が自分たちにできることは何かを考え、行動するようになっている。		
その他	働き方改革、メンタルヘルス	生き生きと働ける職場環境づくり	27%	55%	18%	0%	昨年と比べ通勤時間が短くなる傾向がある。会議を1時間以内に終わらせるようにするなど改善を試みてきたが教材研究等に時間がかかる。風通しのよい職場環境づくりと心身の健康保持体制の整備推進を図る必要がある。	・コロナ対応もあると思うが、平日夜間や休日出勤をされている先生が多い気がする。 ・外から耳に入ってきたことですが、先生方のストレスを感じられる所があり、メンタル的なサポート体制も必要ではないかなと感じています。	